

令和7年9月20日 開催

聴くオフ・ミーティング報告書

テーマ みんなで考えよう！震災後のすぎなみ未来図
～事前復興まちづくりに関する方針策定に向けて～

区では、区政への区民参加の仕組みづくりを進めています。その取組の一つとして、身近な行政課題について、区長と区民が直接意見を交換する「聴くオフ・ミーティング」を開催しています。今回は、「みんなで考えよう！震災後のすぎなみ未来図～事前復興まちづくりに関する方針策定に向けて～」をテーマに、一般公募と無作為抽出した 2000 名の区民の中から参加していただいた 18 名の方と話し合いました。

区長から

事前復興は、被災前よりも、より元気なまちにするために、みんなで準備して計画を立てておこうということです。杉並区は事前復興のまちづくりの方針をこれからつくっていくという段階にあります。そこで、事前に区民の皆さんの考えを聴かせていただき、それを貴重な材料として、これからの方針策定に生かしていきたいと思っています。仮に、私たち杉並区民にとって大切なものが、残念ながら失われてしまったときに、それをどのように回復させ、そして私たちは新たに何をつくっていききたいのか。皆さんにとって何が大切だと思うのかも含めて、お話を聴きたいです。本日は少し硬いテーマではありますが、各テーブルにはファシリテーター役の職員も入り、皆さんがリラックスして話せるように準備していますので、ご自身の考えを遠慮なくお聞かせください。



担当課からの説明



1. 復興とは「被災する前の状態よりも、良い状態にすること」

復興とは被災前の状態に戻す「復旧」とは異なり、被災によるマイナスをゼロに戻すだけでなく、例えば安全性や快適さといった価値を付加し、より良いまちを築くことを意味します。

阪神・淡路大震災や熊本地震で大きく傷ついたまちは、地元の人たちの努力と様々な復興事業により元気を取り戻しました。中には調整が難航し、復興に長い時間を要した場所もあります。



2. 事前復興まちづくりとは“災害が発生する前”に復興に必要な事項を検討しておくこと

区でも耐震・不燃化の取組は着実に進んでいますが、首都直下地震による被害想定では、区内 24,251 棟（全体の 18.6%）もの家屋に半壊以上の被害が見込まれるなど、依然として一定の被害が想定されています。また、被災直後は、被災者の方々が日々の生活に追われ、精神面や日々の生活での余裕を失い、復興に取り掛かることが困難になることが想定されます。

そこで、被災する前からまちの復興に必要な検討を区民の皆さんと区で進めておくことで、迅速な都市復興を可能にします。これが「事前復興まちづくり」です。

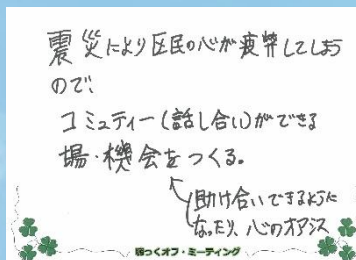
3. まちの復興についてみんなで考えよう

区は令和7・8年度に、被災時に復興を行う上で特に重要となる「都市復興の理念・目標」を区民の皆さんと共に考え、その内容を「（仮称）事前復興まちづくり方針」としてまとめ、区民の皆さんと共有していく予定です。そして、この方針の策定にあたっては、区民の皆さんと区が復興後のまちの将来像・ビジョンを共有することがとても大切です。

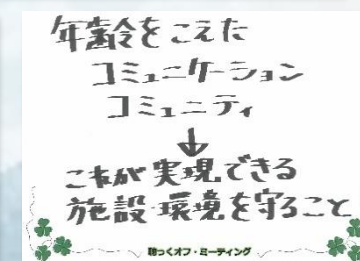
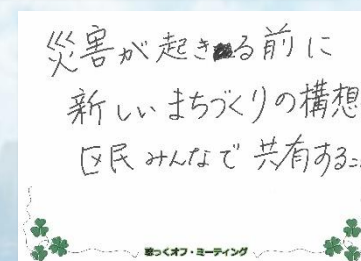
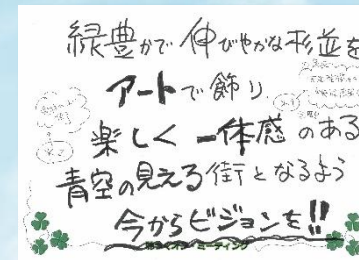
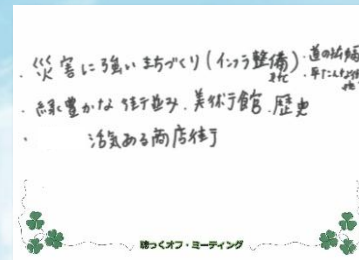
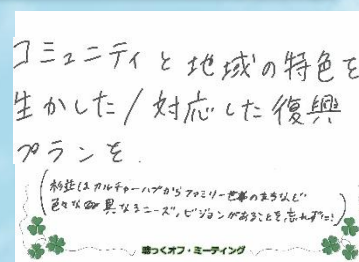
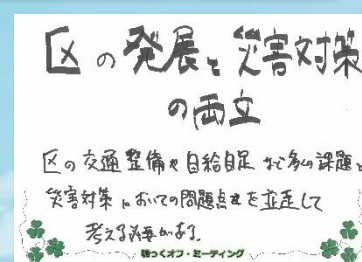
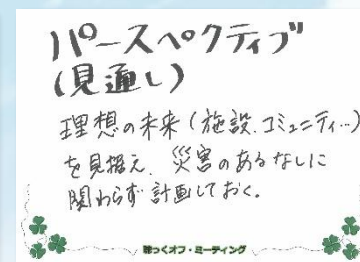
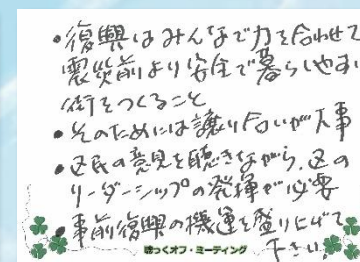
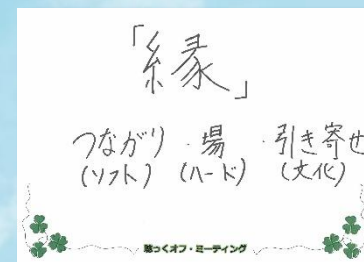
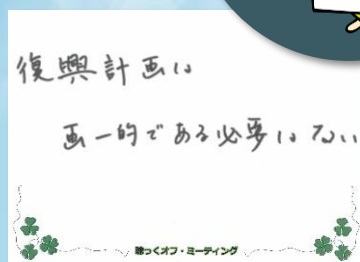
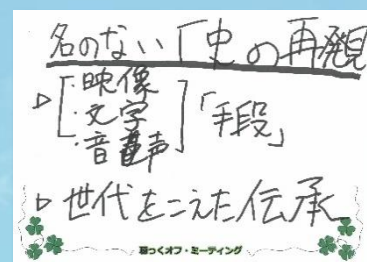
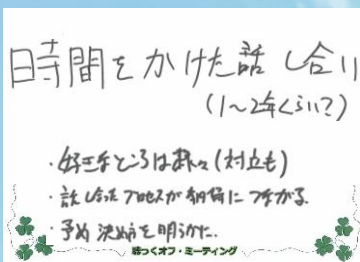
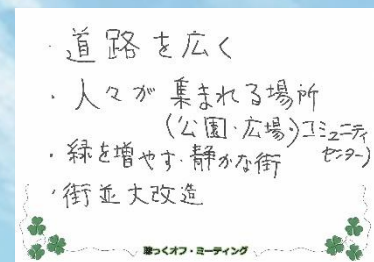
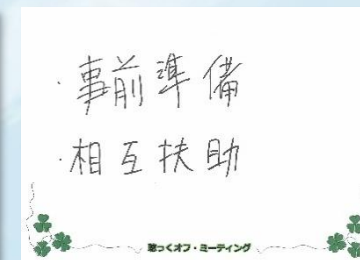
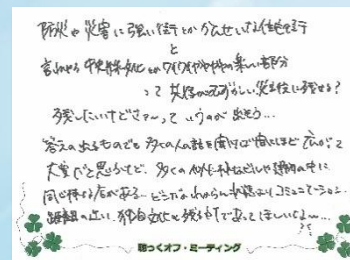
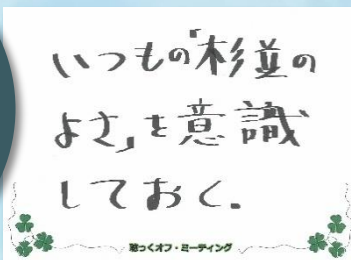
本日は、皆さんと一緒に方針の内容を検討していく第一歩にしたいと思います。杉並のまちが震災で傷ついてしまったとき、どのようなまちに生まれ変わらせたいかを一緒に考え、そのうえで、皆さん一人一人の“復興のために一番大事だと思ったこと”を教えてくださいたいと思います。



5つのグループに分かれて、意見を出し合いました。
今回は、途中でグループのメンバーをシャッフルし、
最後は元のグループに戻り、ワーク全体を振り返り、
“復興のために一番大事だと思ったこと”を出し合いました。



全体トークでは半円状の車座になり、
参加者が一人ずつ自分の意見を発表した後、
フリートークを行いました。



担当課からの感想

皆さん、本日はありがとうございました。
「事前復興まちづくり」という難しいテーマでしたが、活発な話し合いから、多くの意見をいただくことができて、本当に感謝しています。色々なご意見の中で特に印象に残ったのが「復興の過程では、人と人との繋がりが大事」というご意見です。本日のミーティングでも、人と人との繋がりの中で多くのアイデアが生み出されたと思います。被災後は、皆さんに色々な負担や心配が重なり、困難に直面する場面があるかもしれません。そのような時、人と人との繋がりが、一人ではできないことも可能にする力を与えてくれると信じています。

本日いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。「事前復興まちづくり」の取組は、まだ始まったばかりで、これからも皆さんとの意見交換の機会を設けてまいりますので、ぜひまたご参加いただきたいと思います。また、区政全体では、この事業以外にも皆さんとの対話の場を設けていますので、幅広い分野に対して、忌憚なく意見をいただければと思います。



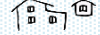
区長の感想



グループワークでは、杉並の良さについて、みどりや水辺、歴史、街並みといった意見が数多く出ていました。地域の街並みにはそれぞれ特徴があり、そこに様々な人たちが住んでいる中で、多様な復興のあり方があって良い、そして事前復興について話すことは、実はまちづくりを話すことなのだと、今日、皆さんに気づかされました。そして平時から、コミュニティを強化しておくことの大切さもあらためて感じました。

被災時には余裕がなく、生活も混乱し、人々は精神的にも疲弊している。そうした中で、対話をすることは大変困難です。だからこそ日頃から様々なレベルで、今日のような対話を通して、相手の立場に立った相互理解や、その上で課題解決を一緒に進めていく経験をするなど、災害時に備えたコミュニティづくりが必要だと思いました。

今日から杉並区は、区民と区、事業者の力を合わせて、みんなで燃えない、倒れないまちをつくらせていきます。そして震災時には、事前復興まちづくり方針をもとに、皆さんの好きな杉並の良さを守りながら、さらに新しいまちをつくらせていきたいと思っています。



令和7年9月20日開催 聴くオフ・ミーティング報告書

＜参加者＞ 区民18名、区長、都市整備部都市企画担当課長ほか

令和7年10月 編集・発行 総務部区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111

